

令和 2 年度市町決算見込及び健全化判断比率見込等について

1 要旨・目的

県内市町の普通会計及び地方公営企業の令和 2 年度決算及びこれに基づく財政健全化判断比率の見込等について、概要をまとめたので報告する。

2 概要

(1) 対象

ア 普通会計決算

県内市町

イ 地方公営企業決算

地方公営企業法を適用した県内市町及び一部事務組合の地方公営企業

(2) 対象年度

令和 2 年度

(3) 決算等の概要

ア 普通会計決算

普通会計の決算状況は、歳入が 1 兆 7,820 億円（前年比 122.4%）、歳出が 1 兆 7,462 億円（前年比 122.5%）となり、歳入歳出差引から翌年度に繰り越すべき財源を除いた実質収支は、167 億 22 百万円（前年比 102.3%）、前年度に比べ 3 億 74 百万円増加した。

イ 地方公営企業決算

公営企業の経営状況は、経常収益が 2,040 億 32 百万円（前年比 105.0%）、経常費用が 1,909 億 12 百万円（前年比 104.1%）となり、経常損益は 131 億 20 百万円（前年比 120.7%）、前年度に比べ 22 億 46 百万円増加した。

ウ 健全化判断比率見込等

県内各市町の令和 2 年度決算における健全化判断比率は、いずれも早期健全化基準等を下回っている。

(4) 決算等の詳細

別紙のとおり